

七五三のお祝いについて

数え年の三歳、五歳、七歳の子供のお祝いです。男女共に三歳(髪置・かみおき)、男子五歳(袴着・はかまぎ)、女子七歳(紐解・ひもとき)をそれぞれお祝します。

今日の七五三行事の原型が出来たのは江戸時代の事で、奇数を陽とする中国の思想の影響を受けたものといわれています。

11月の吉日を選んで祝われていましたが、特に11月15日に定められたのは、江戸幕府五代将軍徳川綱吉の子、徳松の祝いをこの日に行ったからとする説と、この日が鬼宿日(きしゆくにち・万事に吉とされる日)であるからとする説があります。

北海道では気候の関係もあり、昭和24年に札幌市内の神職が集まり10月15日を七五三祝とし、全道的に広がりました。

子供の成長に感謝し、これからの守護を祈願する為に神社に詣でるという習慣は、主に関東地方に多かった様ですが、これに似た子供のお祝いは地方地方にありました。

又、古くは子供が生まれても直ぐには人別帳に記載せず、五歳、七歳の年頃に初めて名前を記され、土地の神社(氏神・うじがみ)に詣でたという例が多く見られ、この年齢から初めて神にも社会的にも認められるとされていた様です。

対 象	平成27年生まれ	男女	数え年	3歳
	平成25年生まれ	男	数え年	5歳
	平成23年生まれ	女	数え年	7歳

■北海道神宮では満年齢でも御祈祷をお受けいたします。

■お問い合わせ／北海道神宮 TEL.(011)611-0261 (お問い合わせ時間:午前9時～閉門まで)

受付時間

10月31日まで

午前9時～午後5時まで

11月1日～

午前9時～午後4時まで



■ご予約不要、時間内にお越し下さい。